

ゼミ活動報告

「CFA 協会主催 IRC 最終審査に参加しました」

星野 裕成

12月7日（金）CFA 協会主催 Institute Research Challenge の国内最終審査に参加しました。右下の写真は会場の東京金融ビレッジで撮った写真です。左には金融のプロとして私たちのメンターとなり、大会期間中レポート作成を手厚くサポートして下さった椎名さん、右には何度も CFA 協会の連絡を伝えていただいた塩澤さんです。大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

本大会最終審査は国内レポート審査で勝ち残った4チームが英語プレゼンを行い、国内1位のみが出場可能なアジア大会の切符を競うものです。私達大阪市立大学チームは、レポート審査において5位。今回はプレゼンを聞いて上位との違いや今後に向けての勉強をさせてもらうという立場での参加でした。



最終審査プレゼン参加チームは、大阪大学、筑波大学大学院、一橋大学、中央大学です。プレゼンのトップバッターは一橋大学。先日の三商ゼミで交流したメンバーの数名が決勝の舞台に立っていました。プレゼンスタート…スタート直後恥ずかしいながら自然と涙が出てきました。英語プレゼンのために特に勉強していたわけではないのにプレゼンの内容があまりにも理解できる…自分たちの分析と大きく変わらない…もしかしたら自分たちが

この舞台に立てていたのかもしれない…自分たちの夏休みがフィードバックしたとともに、強く悔しいという思いが湧いて来ました。（一橋は今回レポート1位チームです。失礼にあたるかもしれませんが、表現力で差がついたのかなあという印象を持ちました。よりレポートを詳細に比較し何が足りなかったのか見たいと思います。）

優勝は、大阪大学。熱意のこもったプレゼンでした。優勝校だけでなく



く他の3大学も素晴らしい英語によるプレゼンでした。この最終審査では質疑応答も金融

のプロの方から英語によってなされます。最終審査に残ることで4校はさらに成長できる機会を得られたのだなと思いました。昨年の今西さんのイベント報告にもありましたが、やればやるだけ成長できる大会です。ぜひ後輩にはベスト4に残ってもらい、2年連続5位という結果をはねのけて欲しいです。ぜひ最終審査の舞台に立って欲しい。2点差での5位でしたが大きな2点だったのかもしれませんが。

と、ここまで最終審査を振り返り、悔しい思いをつらつらと綴ってしまいました。たしかに悔しい気持ちも大きいですが、この大会に参加して過ごした4ヶ月間に後悔はありません。個人的にはチームに迷惑をかけることもありましたが反省点もあります。大変なこともありましたが何にも代え難い本当に貴重な経験ができました。改めてメンターの椎名さん、宮川先生、昨年のIRCチームであった先輩方、ゼミ生のみんな、チームメンバーの苅谷、蔵田、曾根勝、前田、本当にありがとうございました。今回の経験を様々な形でゼミにフィードバックしていきたいです。また、来年3期生が出場するのであれば、僕達もサポート出来る部分を全力でしていきたいと思います。



(写真は左から 椎名さん 曾根勝 前田 苅谷 蔵田 宮川先生 星野)